

議会報告

さかい通信

2019春号

◆幼児教育・保育無償化が始まります!

政府は、幼児教育を無償化する子ども・子育て支援法改正案を閣議決定し、今国会で成立の見込みです。こうした流れを受け、千葉市においても関連予算(18億4千7百万円)が新年度予算に計上されました。

図の通り、3~5歳児(就学前3年間)は原則全世帯、0~2歳児は住民税非課税世帯が対象で、10月1日より認可保育所や幼稚園(一部を除く)、認定こども園の利用料が無料になります。焦点だった認可外施設の扱いについては、補助額に上限を設けて無償化されます。また、給食費は無償化後も引き続き自己負担になりますが、おかずなどの副食費の免除対象が、現在の生活保護世帯などから年収360万円未満の世帯まで広げられました。

幼児教育無償化の概要(今年10月から)

年齢	<ul style="list-style-type: none"> 3~5歳児=全ての世帯 0~2歳児=住民税非課税世帯
対象となるサービス	<ul style="list-style-type: none"> 幼稚園(月2.57万円まで) 認可保育所 認定こども園
が保育の必要な子	<ul style="list-style-type: none"> 認可外保育施設 <ul style="list-style-type: none"> 自治体独自の認証保育所 ベビーシッターなど含む 幼稚園の預かり保育 <p>3~5歳は月3.7万円、0~2歳は月4.2万円まで。預かり保育は幼稚園保育料も含めて上記の金額まで</p>



●歴史的に重要な施策



学校教育費の対GDP比の国際比較では、学校に行く前の子どもへの保育サービスや就学前教育への公的支出について、0.37%と32カ国中30位、特に幼児教育費は0.10%と最低のレベルとされてまいりました。教育の目的は「子どもの幸福」にあり、子どもたちの無限の可能性を開くことであるだけに、経済的な理由により教育を受ける機会に格差があつてはなりません。その意味で、幼児教育無償化は機会の均等を図る施策として大きな意味を持ちます。

また、20~30代の男女を対象にした内閣府の調査によると「どのようなことがあれば、もっと子どもがほしいと思うか」との問い合わせに対し、「将来の教育費に対する補助」と「幼稚園・保育所などの費用の補助」が1、2位であり、少子化対策としてもその必要性は明らかです。

私たち公明党では、2006年に発表した「少子社会トータルプラン」において、幼児教育の無償化を掲げ実現に取り組んできましたが、今回の法改正は義務教育の無償化以来70年ぶりの大改革であり、歴史的に重要な施策と言えます。

一方で、保育所の増設や保育士の待遇改善・人材の確保などにおいても課題があります。これらについても重点課題と位置付け、引き続き全力で取り組んでまいります!

トピック

JR蘇我駅のベンチが好評! —市内全ての駅前広場に拡充予定—



「ちょっと腰をかける場所が欲しい」との声を基に実施を求め、昨年末に設置されたJR蘇我駅前のベンチが好評です。(東口に3基、西口に1基、社会実験として設置されています。)今月末には、市内全ての駅前広場に設置を進める計画が策定される予定です。

また、バス停や道路においても、今後様々な手法で整備が進められる方針です。今後の展開にご期待下さい。



声を
カタチに

平成31年度 千葉市・新年度予算 に反映された主な事業

実現を要望してきたものの内、新年度予算において
新設・拡充されたものを以下に紹介致します。



©KOMEITO

まちの活力

- オリンピック・パラリンピック関連事業
- パラスポーツの振興
- 幕張・稲毛海浜公園のリニューアル

福祉

- 障害児者の重度化・高齢化への対応
- 特定不妊治療費の助成拡充
- 買い物・通院など移動支援ニーズ調査
- あんしんケアセンター、認知症対策の拡充

子育て教育

- 母子健康包括支援センターの拡充
- オリンピック・パラリンピック教育の拡充
- 学校へのエアコン設置、トイレの洋式化
- スクールカウンセラーの拡充
- 子どもルームの整備拡充
- 幼稚園・保育園の一時預かりの拡充

安全安心 インフラ

- 災害時緊急情報配信サービスの新設
- 空き家対策
- 西雷踏切の歩道整備
- 防犯カメラの設置
- 塩田町・誉田町線・村田町線・南町宮崎町線

市体育協会と市スポーツ振興財団が業務統合され、4月に市スポーツ協会が発足。組織内に障害者スポーツ委員会も設置され、障害者スポーツ団体から要望を頂いてきた専門組織が実現することになりました!

いじめ、不登校の低年齢化に伴い、小学校への配置拡充を求めるのが8年前。今般、相談の急増などを背景として大幅に人員が拡充され、小中学校、全校への配置の運びとなりました!

災害発生時に、避難勧告や避難所開設などを確実に伝達するため、携帯電話を使用していない高齢者などを対象として、自宅の電話やFAXに情報を配信するサービスが開始されます!

JR蘇我駅(8台を予定)周辺への設置がなされるほか、防犯パトロールを実施する地域団体に新たにドライブレコーダーが配布されます。(約50台)

JAPAN JAM 2019 今年も蘇我で開催!

JAPAN JAMは日本国内で開催される大規模な音楽フェスティバルの一つで、2010年から開催されており、一昨年から蘇我スポーツ公園が会場となっております。

蘇我での開催が定着すれば、新たな地域ブランドとして内外に発信できるほか、まちの活性化に大きな力となります。

これまで、主催者と地域をつなぐ取り組みに尽力してまいりましたが、今後とも蘇我での継続開催に全力で取り組んでまいりたいと思います。



JAPAN JAM 2017では砂ぼこりが発生。施設改善を要望し、議会でも取り上げさせて頂きました。

その後、主催者にも協力頂く形で芝生化が実施され、翌年のJAPAN JAM 2018では快適になった会場が好評を博しました。



市政に関するご意見、ご要望など、みなさまの声をお聞かせください。

千葉市議会議員

酒井伸二

〒260-0822 千葉市中央区蘇我3-5-14

Tel/Fax.043-268-7120

ホームページは「酒井伸二」で検索ください! <http://www.facebook.com/sakai.cc> e-mail:sakai_chiba@ko-mail.jp

